

参考文献

- [1] 「経済財政運営と改革の基本方針 2015」(2015年6月30日閣議決定)
- [2] 「規制改革実施計画」(2015年6月30日閣議決定)
- [3] 「経済・財政アクション・プログラム」(2015年12月24日経済財政諮問会議)
- [4] 「日本再興戦略 2016」(2016年6月2日閣議決定)
- [5] 「健康・医療戦略」(2013年6月14日)
- [6] 「医療分野の研究開発に関する総合戦略」(2014年1月22日)
- [7] 「医療分野研究開発推進計画」(2014年7月22日)
- [8] 内閣官房(2015)「Precision Medicine Initiative (概要)」(第1回ゲノム医療実現推進協議会(2015年2月13日)資料4)
- [9] 厚生労働省(2015a)「第90回医療保険部会で依頼のあった資料(OTC類似薬、生活習慣病治療薬)」(第91回社会保障審議会医療保険部会(2015年11月20日)資料2-3)
- [10] 厚生労働省(2015b)「医薬品産業強化総合戦略～グローバル展開を見据えた創薬～」(2015年9月4日)
- [11] 厚生労働省(2007)「医療用医薬品の流通改善について(緊急提言)～公的保険制度における取引の信頼性を確保する観点から～」
- [12] 厚生労働省(2015c)「医療用医薬品の流通改善の促進について(提言)～後発医薬品の更なる使用促進などの環境変化に対応する持続可能な流通機能の観点から～」
- [13] 厚生労働省(2017)「薬価制度の抜本改革について(その10)⑥新薬創出等加算の在り方(参考資料)」(第134回中央社会保険医療協議会薬価専門部会(2017年6月14日)薬-1参考)
- [14] 厚生労働省(2016)「薬価改定の経緯と薬剤費及び推定乖離率の年次推移」(第117回中央社会保険医療協議会薬価専門部会(2016年8月24日)薬-3)
- [15] 厚生労働省(2013)「薬価基準収載品目リストと後発医薬品に関する情報(2013年8月末)」
- [16] 厚生労働省(2015d)「薬価基準収載品目リストと後発医薬品に関する情報(2015年8月末)」
- [17] 厚生労働省「新医薬品の薬価算定について」(中央社会保険医療協議会総会 新医薬品薬価収載時資料)
- [18] 厚生労働省「使用薬剤の薬価(薬価基準)」(厚生労働省告示)
- [19] 厚生労働省「使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部を改正する件」(厚生労働省告示)
- [20] 厚生労働省「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査 後発品の使用状況調査」
- [21] 厚生労働省「高額療養費を利用される皆様へ」

- [22] 財務省「租税特別措置の適用実態調査の結果に関する報告書」(各年度)
- [23] 会計検査院(2015)「租税特別措置(法人税関係)の適用状況についての報告書」
- [24] 一般社団法人日本医薬品卸売連合会「卸会員各社の従業員数・MS数の推移」
- [25] 国立医薬品食品衛生研究所「日本で承認された組み換え医薬品・細胞培養医薬品」
 〈http://www.nihs.go.jp/dbcb/approved_biologicals.html〉
- [26] 独立行政法人医薬品医療機器総合機構「審査報告書(「起原又は発見の経緯及び開発の経緯」等の資料)」
- [27] 日本政策投資銀行関西支店「創薬を中心とした医薬品産業の現状とバイオベンチャー発展に向けて～バイオベンチャーによる関西発の創薬を目指して～
- [28] 科学技術・学術政策研究所(2015)「平成27年度民間企業の研究活動に関する調査報告」
- [29] 科学技術・学術政策研究所(2009)「平成21年度民間企業の研究活動に関する調査報告」
- [30] 独立行政法人医薬基盤研究所「希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器等の開発振興」
 〈http://www.nibiohn.go.jp/part/promote/orphan_support/treatment.html#hinmoku〉
- [31] 公益財団法人難病情報センター 〈<http://www.nanbyou.or.jp>〉
- [32] 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(2015)「先駆け審査指定制度の対象品目一覧表」(平成27年10月27日現在)
 〈<http://www.pmda.go.jp/review-services/drug-reviews/0003.html>〉
- [33] 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(2015)「総合パンフレット」
- [34] 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(2015)「平成27年度「創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)」に係る採択課題の決定」
 〈http://www.amed.go.jp/koubo/060020151104_kettei.html〉
- [35] 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(2016)「平成28年度「創薬支援推進事業—希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業—」の採択課題について」
 〈http://www.amed.go.jp/koubo/060020160629_kettei.html〉
- [36] 国立研究開発法人日本医療研究開発機構「公募要領 創薬支援推進事業(希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業)」
 〈http://www.amed.go.jp/content/files/jp/koubo/060020151104_youryo.pdf〉
- [37] 一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構(2016)「薬剤使用状況等に関する調査研究 報告書」(2016年3月)
- [38] 日本製薬工業協会「製薬企業に係わる税制の国際比較と創薬の国際競争力」
- [39] 日本製薬工業協会(2016)「製薬協 産業ビジョン2025」
- [40] 日本製薬工業協会「DATA BOOK」

- [41] 健康保険組合連合会 (2014)「医療・医薬品等の医学的・経済的評価に関する調査研究-フランスにおける取組を中心として 報告書」(2014年6月)
- [42] 株式会社じほう「日刊薬業データベース」(各年度)
- [43] 株式会社医療情報科学研究所 (2014)「薬がみえる vol. 1」
- [44] 株式会社医療情報科学研究所 (2015)「薬がみえる vol. 2」
- [45] 社団法人日本医薬品卸売連合会 (2012)「医薬卸連ガイド」
- [46] EvaluatePharma (2015)「World Preview 2015」
- [47] 上瀬昭司 (2009)「後発医薬品の成長と先発医薬品」『商大論集』第61巻第1号
- [48] 原泰史・長岡貞男 (2015)「革新的な医薬の探索開発過程の事例研究：メバロチン」一橋大学イノベーション研究センター ワーキングペーパー J S T - N - C A S E 06
- [49] 菅原琢磨 (2002)「製薬企業の利潤率分析—他産業との比較—」『医薬品産業組織論』南部鶴彦編、東京大学出版会
- [50] 菅原琢磨・南部鶴彦 (2014)「後発医薬品の市場シェア決定要因と普及促進政策の効果—高脂血症薬「プラバスタチン」における後発医薬品参入の事例—」『経済志林』81(2-4)、83-108, 2014-03
- [51] 中村洋 (2015)「新薬創出加算のメリットの要因分析とシミュレーションに基づく考察」
- [52] 山田雅信 (2014)「PMDAの立場から」
- [53] 佐藤章弘 企画編集 (2015)「世界の薬価・医療保険制度早引き書 2015年度刷新版」
- [54] 坂巻弘之「連載「薬剤経済学」～薬剤費に関わる議論と費用対効果評価(第2回)～薬剤費の状況と薬剤費コントロール策. ファーマシストフロンティア 2017年2月号 vol.22 (<https://mim.publishers.fm/issue/3535/>)」
- [55] 中村洋 (2015)「医薬品開発におけるパラダイムシフト」『薬剤学』2015年 vol.75, No. 5
- [56] 中村洋 (2009)「ライフサイエンスの産業経済分析」
- [57] 長澤優 (2012)「国民医療費に占める薬剤費推計」, JPMA News Letter No.152 (2012/11)